

都道府県名	秋田県
-------	-----

学校の概要

学校名	大館市立下川沿中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	0	3	14
生徒数	34	38	33	0	105	

研究の概要

1 研究主題

自ら考え自ら学び，課題を解決することによって， 確かな学力を身に付ける生徒の育成

2 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> ・本校では，国語，社会，数学，理科，英語の5教科を中心として，学級を2つの均等な集団に分けた少人数学習を実施している。 1年...数学，英語 2年...国語，社会，数学，理科，英語 3年...国語，社会，数学，理科，英語 ・さらに，2年数学と2・3年英語は2人の教師によるTTを，週2時間程度行っている。

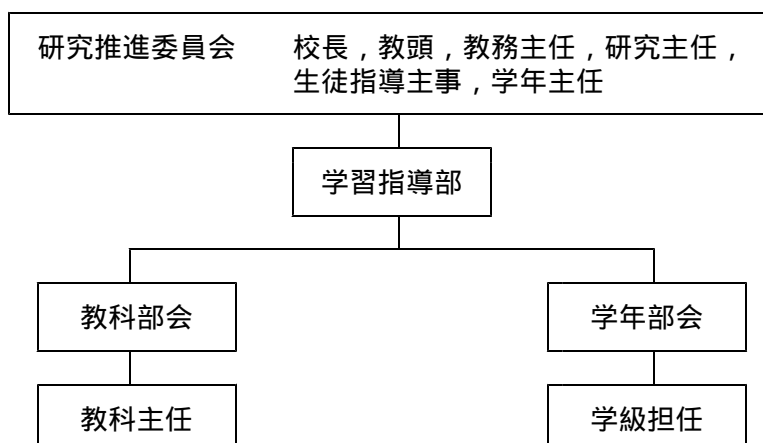
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 自ら考え自ら学び，課題を解決することによって， 確かな学力を身に付ける生徒の育成</p> <p>研究の見通し(仮説)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語，社会，数学，理科，英語の5教科を中心として，学級を2つの均等な集団に分けた少人数学習を実施することにより，基礎・基本の確実な定着と個に応じた指導の展開が図られ，確かな学力を身に付けた生徒が育つであろう。 ・選択教科で，生徒の興味・関心に応じて自ら課題を設定して追究する課題学習や発展的な学習，生徒の能力や適性に応じた補充的な学習など，多様な指導方法で個に応じた指導を展開することにより，確かな学力を身に付けた生徒が育つであろう。 <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語,社会,数学,理科,英語の5教科を中心とした少人数学習の推進 ・数学科，英語科での習熟の程度に応じたコース別学習 <p>(2) 小・中の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究授業，研究会への参加 ・小・中交流授業の実施

	<p>(3) 選択教科の拡充と基礎・基本の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生... 3教科(国, 数, 英) 5コースから2コース選択 ・ 2年生... 5教科(国, 社, 数, 理, 英) 7コースから2コース 3教科(音, 保体, 技家) 3コースから1コース選択 ・ 3年生... 5教科(国, 社, 数, 理, 英) 8コースから4コース 3教科(音, 保体, 技家) 3コースから1コース選択 発展コースや基礎・基本コースを設定 <p>(4) 評価を生かした指導の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準学力検査や学習状況調査など客観的に把握できるデータの活用と補足的な学習指導 ・ 少人数学習に関するアンケート調査の実施 <p>(5) その他の取り組みとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校読書 ・ 帰りの会の5分間ドリル, 全校学習 ・ 家庭学習の習慣化
--	--

平成16年度	<p>テーマ 自ら考え自ら学び, 課題を解決することによって, 確かな学力を身に付ける生徒の育成</p> <p>研究の見通し(仮説)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語, 社会, 数学, 理科, 英語の5教科を中心として, 学級を2つの均等な集団に分けた少人数学習を実施することにより, 基礎・基本の確実な定着と個に応じた指導の展開が図られ, 確かな学力を身に付けた生徒が育つであろう。 ・ 生徒の興味・関心に応じて自ら課題を設定して追究する課題学習や発展的な学習, 生徒の能力や適性に応じた補足的な学習など, 多様な指導方法で個に応じた指導を展開することにより, 確かな学力を身に付けた生徒が育つであろう。 <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語, 社会, 数学, 理科, 英語の5教科を中心とした少人数学習の推進 ・ 数学科, 英語科のTTによる実践 <p>(2) 小・中の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力検査等による情報交換 ・ 研究授業, 研究会への参加 ・ 小・中交流授業の実施 <p>(3) 発展的な学習や補足的な学習など個に応じた指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本の確実な定着を図る学習指導の工夫 ・ 課題選択, 課題解決など発展的内容を取り入れた学習指導の工夫 ・ 選択教科の拡充と, 発展コースや基礎・基本コースの設定 <p>(4) 評価を生かした指導の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準学力検査や学習状況調査など客観的に把握できるデータの活用と補足的な学習指導 ・ 生徒の変容をとらえる評価方法の工夫 ・ 学習や少人数に関するアンケート調査の実施 <p>(5) その他の取り組みとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全校読書 ・ 帰りの会の5分間ドリル, 全校学習 ・ 家庭学習の習慣化
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1 研究成果

(1) 各教科ごとの成果

- [国語] 少人数学習を行うことにより，理解や進度の差など個に応じた指導が充実した。それによって生徒の課題に取り組む姿勢が積極的になってきた。また，小集団の中で自分の意見を積極的に表現したりまとめたりできるようになってきた。
- [社会] 少人数学習を行うことにより，授業の中で一人一人に役割をもたせる機会が多くなった。このことが，学習意欲の向上につながった。また基礎・基本の定着が図られていない生徒に重点的に個別指導することで，全体の学力を高めることができた。さらに，できるだけ多くの生徒に発表の機会をもたせることにより，発表力が向上した。
- [数学] 少人数で学習する中で，意見を言いやすい雰囲気，学び合える雰囲気がつくられ，積極的に発表できる生徒が増えてきた。また，人数が半分になったことで，机間指導で個にかかわることができる時間が増え，補充的な学習や発展的な学習の充実につながった。
- [理科] 少人数学習をすることにより，自分の考えが浮かばなかったり，考えの見通しがもてない生徒に適切な助言ができ，学習意欲の向上につながることができた。また，観察や実験などで生徒が個別に活動する機会を増やすことにより，基礎操作の向上がみられるようになってきた。
- [英語] 個別指導に十分時間をかけることによって，生徒は「やればできる」という実感を抱き，意欲の向上につながった。また，一人一人の発表や発声の機会を増やすことにより，授業への集中度が増した。

(2) 学習状況調査の比較

昨年度から少人数学習を実施している学年・教科について，昨年度の学習状況調査と比較すると，どの教科も県平均との差が下記のように上昇している。

2年...国語 +2.6ポイント，社会 +0.1ポイント，数学 +6.2ポイント，
理科 +10.8ポイント，
3年...国語 +3.6ポイント，数学 +8.3ポイント

(3) 少人数学習に関する生徒の意識調査から

- ・学級を2つに分けた少人数の授業をどう思いますか。
よいと思う 59%

どちらかというといよい	35%
どちらかというといやだ	5%
いやだ	1%

・少人数学習を「よい」と思う理由は何ですか。(複数回答)

分からないところを聞きやすい	59%
集中できる	59%
発表しやすい	48%
学習内容がよくわかる	43%
雰囲気がいい	29%
自分に合っている	11%

この調査からほとんどの生徒が、少人数学習を肯定的にとらえていることがわかった。

(4) 生徒指導上の成果

少人数学習を実施することにより、一人一人の生徒とコミュニケーションをもつ機会が増え、生徒の質問に答えたり、意見や考えを取り上げたりすることが多くなり、一人一人の生徒をより深く理解できるようになった。

2. 今後の課題

- (1) 習熟度別学習，課題選択学習，課題解決学習など，少人数に合わせた指導方法や指導形態を今後もっと工夫していかなければならない。
- (2) 少人数学習を行うことが，即「できる」「分かる」授業につながると安易に考えず，スモールステップでのチェックをしっかりと行いながら個に応じた指導の工夫に努めていきたい。
- (3) 少人数学習を生かしたきめ細かい評価活動を充実させたい。学習シートやレポートを工夫して，進捗状況を確認したり新たな課題を設定したりできる自己評価能力を育てるようにしたい。
- (4) 少人数学習のメリットを生かし，個に応じた指導を充実させるとともに，教師の教科指導力を向上させていきたい。

学力把握のための学校の取り組み

- ・標準学力検査(NRT)，観点別到達度検査(CRT)，学習状況調査の実施と分析，補充指導
- ・学習に関する意識調査の実施と活用
- ・英語検定，漢字検定などの奨励

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

10月25日 学区内の保育所・小学校・中学校・公民館合同研修会で，地域住民，保護者，教職員に授業を公開
 10月30日 地区合同教育研究会で，地区の教職員を対象に数学科と理科の授業を公開
 国語科・社会科・英語科指定訪問研究会で地域の教職員に授業を公開
 1月8日 第15回大館市教職員実践研究発表会で，教職員を対象に実践研究内容について発表

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下 7～9学級 13～15学級	4～6学級 10～12学級 16学級以上		
【指導体制】	少人数指導 その他	T・Tによる指導		
【研究教科】	国語 外国語 保険体育	社会 音楽 その他	数学 美術	理科 技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	